



ID: 1147

科目名	芸術文化論【26年度生用】			コード	
英語表記					
担当教員名	山田 真治			年度	平成26年度
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数
授業形態	講義	授業形式			履修形態
授業概要					
日本歌曲について考察する。具体的には、歌曲を聴きながら日本文化による詩の美しさや、言葉のイントネーション、メロディーの付けられ方を分析する。また日本歌劇を鑑賞し、日本語の美しさへの理解を深めていく。歌劇では、歌の芸術性を考察するとともに、舞台芸術の魅力を追及していく。					
到達目標					
作品への寄り添い方を習得し、「素晴らしい歌とはどんな歌なのか」が、自分自身で判断できる知識を習得する。					
授業計画					
第1回	日本歌曲の歴史				
第2回	唱歌の芸術的捉え方				
第3回	童謡の芸術的捉え方				
第4回	童謡作曲家、中田喜直の心の旋律、VTR				
第5回	歌曲集「ごめんなさい」より、友だちっていいもんだ・おふろ				
第6回	歌曲集「ごめんなさい」より、いもうとが うまれてくる日・ないしょ ないしょが とんでった				
第7回	歌曲集「ごめんなさい」より、おかあさん ふー・プチマト				
第8回	歌曲集「ごめんなさい」より、ねっこの ヤサイ・がったん ごっとな いいきもち				
第9回	歌曲集「ごめんなさい」より、ふみきりで・あまえんぼう・きもちいいね				
第10回	歌曲集「ごめんなさい」より、いち にの さんかんばん・ひとりぼっちの あのこ・ごめんなさい				
第11回	歌劇:歌劇の概要・歌劇:「夕鶴」の背景、、粗筋、鑑賞				
第12回	歌劇:「夕鶴」鑑賞				
第13回	歌劇:「ヘンゼルとグレーテル」の背景、粗筋、鑑賞				
第14回	歌劇:「ヘンゼルとグレーテル」鑑賞				
第15回	歌劇:「ヘンゼルとグレーテル」鑑賞				
評価方法と基準			評価項目と割合(%)		
・レポートによる評価・歌詞の美しさが捉えられているか、曲の構造が捉えられているかが評価の基準になります。			出席	授業態度	レポート
			20%	80%	
授業外学習			テキスト、教材		
教科書のCDをよく聴いて来て下さい。			「ごめんなさい」(カワイ出版)		
参考書			受講生へのメッセージ		
随時紹介			連続性のある授業です。欠席をしないようにして下さい。欠席をした時には必ずCDを聴いてレポートを作成しておいて下さい。授業は毎回レポート作成をします。		
キーワード					
美しい詩・イントネーション・舞台芸術					